

記念講演

子どもの笑いは宝！ 人を勇気づける「笑い」の力

落語家の笑福亭鶴笑氏が「地上に平和を！人々に笑顔を」のテーマで講演されました。

鶴笑氏は兵庫県出身で昭和59年に入門。平成2年のニューヨーク公演を皮切りに、国際派落語家として世界各国で公演されています。また、さまざまなボランティア活動に参加されており、日本でも老人ホームなどへ訪問を年間50件、実施されています。

平成7年の阪神・淡路大震災の際には、ボランティアとして活動した避難所で落語を行い「笑い」を通じて被災者を勇気づけました。発災直後は「笑い」は不謹慎ではないかという雰囲気だったが、時間が経つにつれ、被災した人々からも「笑いたい」という声があがり、要望に応えたのです。

平成11年のトルコ北西部地震の際も、現地に赴きト

ルコ語でパペット落語を公演。子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の人々の心を勇気づけました。

平成18年にはNPO法人「国境なき芸能団」を設立し、難民キャンプや病院などに笑いを届ける活動を始めました。

平成23年「国境なき芸能団」として、当時、爆弾テロが各地で発生し、緊張状態の続くイラクへ行かれた。周囲の人たちからは危険だと言われるなか「笑い」と救援物資を届けに行かれたのです。難民キャンプには、家もお金もなくした人々、テロだけがをした子どもがいました。

その地で公演を行うために交渉したものの、断られそうになったそうです。しかしその場にいた子どもたちをジェスチャーで笑わせると、他の子どもも集まり、大人も心を開いてくれ、公演が可能になったとのこ

と。

鶴笑氏は「この国も『子どもの笑いは宝』です。さまざまな活動を通して感じました。日々子どもたち

第6分科会

保育だけではなくトータルな支援が求められている



岩田公子氏

第6分科会では、枚方市・常称寺保育園園長の岩田公子氏と事務長の白神明子氏が「子育て支援における地域との連携」をテーマに発表。

核家族化や育児能力の低下から子育て家庭の子育てに対する負担感や不安感が高まっていると感じていた岩田氏。さまざまな職種や関係機関で子育て家庭をサポートする必要があると感じ、家庭を孤立させないネットワークづくりを注がれました。

常称寺保育園では次の7つの事業や機関を通じて組

に関わっている皆さんもそのことを心に持ちながら頑張ってください」とエールを送られました。

織間の連携を行い、保育園独自のネットワークシステムの構築を図りました。

①相談技術や知識を持った「スマイルサポーター」を園に配置。

②園の「ふれあい体験」や見学の情報を、市の訪問委員を通じて各家庭に提供。

③市内在住の全ての5〜8カ月児と満1歳児を近隣の保育園に招待し「ブツクスター」や「ふれあい体験事業」を行い、園児との交流や子育ての情報提供。

④卒園児の保護者で組織している和太鼓サークル「釈迦」の活動拠点として園を提供。先輩保護者と現役保護者との交流が図られている。

⑤「校区福祉委員会」の子育



白神明子氏

てサロンに職員が参加。民生委員や主任児童委員とともに、地域の子育て機能を高めるため専門性を発揮。

⑥スムーズに小学校生活が送れるよう、年長児の体験授業や、校長や1年生の担任教諭と園長・保育士との懇談会などを実施。

保育要録の活用方法についても話し合いを行う。

⑦在宅で子育てを行っている家庭で「チューリップ組」を構成。

岩田氏は「親の就労支援・親子の抱える生活課題な

ど、複雑な課題も保育園で受け止めることがあり、保育だけではなくトータルな支援が求められている」と現在の状況について述べ、「子どもの貧困が社会問題化するなか、さまざまな機関と連携し『貧困の防波堤』として役割を担っていく必要がある」と今後のあり方について提起しました。

助言者の神戸松蔭女子学院大学・教授の寺見陽子氏は「ネットワークにはどの形が正解というものはない。地域のニーズや課題に沿い、それぞれの組織がそれぞれの専門性にあつた役割を担い、協働して解決に向かっていくことが大切」と強調しました。

(編集委員T・T)

経営者部会・保育部会共催

「子ども・子育て支援新制度」説明会のご案内

日程：平成26年8月20日(水)、21日(木)

時間：14:00～17:00

会場：大阪社会福祉指導センター5階ホール

対象：経営者部会会員法人、保育部会会員保育園

内容：①行政説明「子ども・子育て支援新制度について」

登壇者：大阪府 福祉部 子ども室
子育て支援課

②事前質問事項への回答

開催案内につきましては各法人、各保育園にご案内させていただいておりますが、ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。

勝

久寺保育園は定員は70人、浄土真宗本願寺派・宗教法人勝久寺が設置運営しています。

昭和19年4月に戦時託児所として開設。昭和23年6月に認可保育園となり現在に至ります。

摂津市千里丘東に位置

し、JR東海道本線千里丘駅や阪急摂津市駅に近く、交通アクセスは抜群です。お寺の駐車場（屋内）を保護者の駐輪場として開放されており、電車通勤の方はそこから歩いて駅まで向かうことができ、「最高の立地条件」と喜ばれています。街中から一步園内に入る

「ありがとう」「ごめんなさい」といえる心を育てる

都会のオアシスで生き物にふれ、命のつながりを学ぶ

摂津市

しょうきゅうじ 勝久寺保育園



みんなでお花見

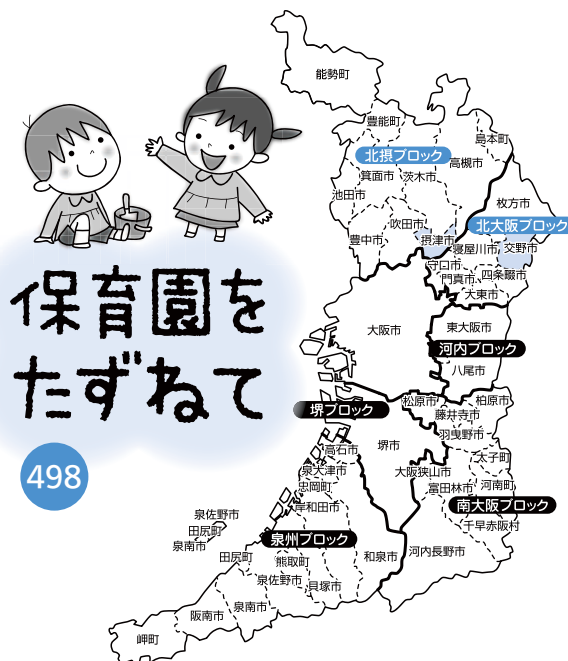
と緑あふれる境内。都会の中のおアシスで、子どもたちは、自然にふれながら成長します。自慢の庭には四季の花々が咲き、春は桜、そして藤の花は紫と白の二種類が咲き誇ります。庭の池では鯉が泳ぎ、水槽には黒メダカや雨蛙のおたまじやくしも飼育されています。好奇心旺盛な幼児にとっては、絶好の観察場所。命が次の世代へつながる光景を日々学んでいます。そんな環境のなかで「ありがとう」「ごめんなさい」といえる優しい心を養うことを園の目標に取り組んでいます。

誕生会では、誕生月の子ども達の保護者を招待します。お昼ごはんを一緒に食べたり、ゲームをして遊んだり、ともに喜びを分かち合っています。



運動会・敬老の日などに披露される和太鼓

和太鼓はさまざまな行事で披露されます。世代間の交流に力を注ぎ、「敬老の集い」では、遠くに住む祖父母も参加されるそうです。子どもたちが手作りのプレゼントをお年寄りに渡すシーンはとても微笑ましい光景です。（編集委員M・H）



保育園をたずねて

498

私

部保育園は交野市の中心部、京阪「交野市駅」から徒歩数分にある90人定員の保育園です。音楽と体力作りが保育の重要な柱となっています。

音楽は、2〜5歳児に週1回のリトミック教室を行っています。

リズム遊びや表現活動を通じ感覚機能の発達を促し、芸術的思考や創造性を伸ばす「根」を育てることが目的です。

体力作りは3〜5歳児を対象に毎週1回の体育教室を取り入れています。身体活動遊びの中に取り入れ、専門トレーナーにより、

大きいお友だちの組体操と小さなお友だちの組体操



系統的に進めていきます。

こうして培われた基礎をもとに運動会のプログラムがあります。4歳児の旗とポンポン、5歳児の太鼓によるマーチングは日ごろの音を通して訓練の成果で素晴らしい演技を披露してくるそうです。専任のコーチによる指導のもと、音と体の動きを絶妙に組み合わせで行進します。4〜5歳児合同の組体操も注目を集めています。

数年前からは3歳児も組体操を始めました。見る者が思わず笑みを浮かべる、小さくてかわいい3歳児の演技は、今では年中・年長のそれを上回るほどの人気プログラムに。これもまた日ごろの訓練の成果だと思

います。



つり橋の前で一服・楽しみにしていたプログラム

が隠れて練習する面白い光景を見ました。当日のキャンプファイヤーの時に4グループに分かれ披露する出し物の、秘密の練習のこと。グループの担当保育士以外は、園長も他の先生もそしてグループ外の友達にも秘密です。皆が当日をとっても楽しみにしています。（編集委員J・F）

音楽と体力作りを柱に、芸術的思考・創造性と身体を育てる

日ごろの成果を見せる運動会

交野市

きさべ 私部保育園

自然豊かな環境の中で、 のびのびとした保育の取り組み

多くの経験を通して
感性豊かな子に

堺市

せんぼくはなぞの
泉北花園保育園

地域とのつながりも子育て支援事業の大切な一環としてとらえ、敬老会には在園児の祖父母とともに地域のお年寄りも招待して一緒に楽しく過ごします。

楽団を招いての楽しい音楽会や人形劇鑑賞などにも、地域の子どもたちの参加を呼びかけています。小



楽団による音楽会

(編集委員K・K)

学校との交流も盛んで、お互いに訪問をして情報交換を図っています。

子ども・子育て支援新制度の施行にあたって、新しい保育を取り入れながら、地域の方にも信頼される施設でありたい、と考えておられます。

泉 北花園保育園は、昭和49年に開設され、緑に囲まれた小高い丘の上に建ち、四季折々の彩りが美しい恵まれた環境です。定員は130人。

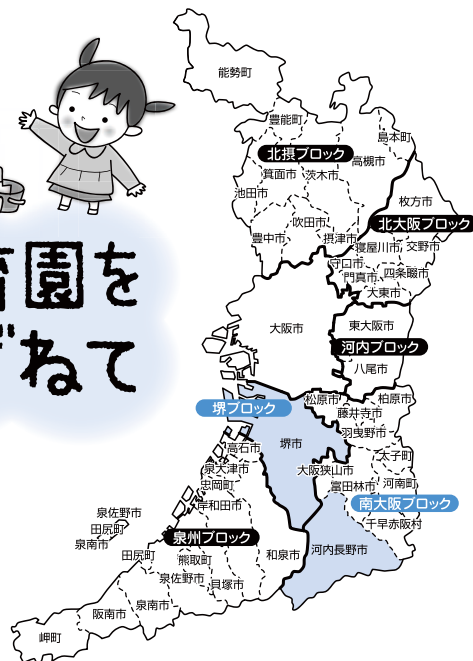
3年前に建て替えを終え、広々とした園舎や園庭で、子どもたちはのびのびと活動しています。エントランスから広い廊下が続き、奥には色とりどりの熱帯魚が子どもたちの目を惹きつけてくれます。

周辺には公園もたくさんあり、気候のよい時季には、異年齢児合同で散歩に出かけます。年下の子に対する思いやりや優しさ、助け合う

気持ちなどが身に付きます。また、丈夫な体づくりを目指して、2歳児からは年間を通して、毎朝上半身裸になって乾布摩擦、体操に励んでいます。週に一度、外部教師を招いて体育指導にも注力されています。



楽しみにしているバースデーパーティー



住宅地の中にある保育園です

天 宗清見台園は、河内長野市の清見台住宅地内のほぼ中央部に所在する定員90人の保育園です。

清見台は、南海高野線三日月町駅から徒歩で10分ほどのところにあり、約1600世帯が暮らす閑静な住宅地です。運営法人は、天宗社会福祉事業会で、平成元年4月に開園、今年で創立25年を迎えます。

保育方針は、「一人ひとりの個性を尊重し、豊かな人間性を育てる」です。園訓の「5つのやくそく」で、幼児期からの道徳教育を推進しています。

地域活動事業としては、育児相談、園庭開放、夏祭り、敬老の集い、餅つき会などを実施しています。地元中学校2年生の職場体験の受け入れを毎年行う一方、園児たちは、地元秋まつりの実行委員会のご厚意で地車の曳行体験や、地元農家の畑で芋掘りの体験もさせていただきます。

地域の伝統行事や豊かな

保育事業は、産休明けからの乳児保育・障がい児保育・延長保育・一時保育などを実施しています。

特に、知育・徳育・体育の基盤となる食育が最優先と考え、偏った食事をしない、食を大切にすることを育てることをモットーに、安全で新鮮な食材を使用し、彩りと味つけにこだわった手作りの完全給食を提供しています。

自然にふれる貴重な体験活動を通じて、地域との絆を深め、世代間交流と同時にふるさとを愛する心を育んでいます。

感性ある心の保育と地域に根差した保育園づくりを目指している様子を感じることができました。

(編集委員H・M)



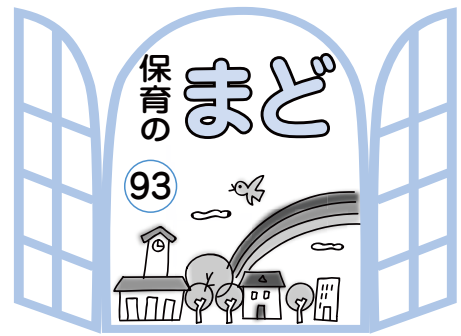
広い園庭とかわいい遊具

ふるさとを愛し、 地域に根ざす保育園づくり

食育を最優先に、
食を大切にすることを育てる

河内長野市

てんそうきよみだいえん
天宗清見台園



リスクマネジメント わが園の取り組み

常に検証し、対応を
考えていくことが必要

編集委員座談会

7回にわたる連載を締めくくるにあたり、取材を通して掲載した内容以外に保育園での危険（リスク）が他にもないかなど、本誌編集委員による座談会を行いました。

（司会：齊藤和正編集委員長）

不審者に対する対応をどのように行っていますか。

● 行事の時は、不特定多数の人が来園されるので、あらかじめ、保護者へ参加者の確認をしています。

● 参加する皆さんには、参加者であることを示すものを身につけてもらい、着けていない人は園に入れないように対応しています。このルールで

● 園外活動での不審者への対応はどうですか。

● 最近、観光施設に訪問している外国人が多くなっ

ています。遠足で観光施設に行くとき許可なく、園児の写真を撮る人たちもいて、悪気はないと思いますが、大変困る時もありました。

● 園外では不審者以外にも気をつけなければいけないところもあると思います。どうですか。

● 遠足の時は、担任・主任・園長が参加して、各担任に携帯電話を持たせ、引き率します。年齢の異なる子どもでグループを作り道路側には年上の子が歩きます。

● 電車に乗る時は、電車とホームの間に保育士が入り園児が線路に落ちないように気をつけています。

● 緊急時・事故が起きた時を想定した対応はどうですか。

● プールを使用する時期になると、保育園の新任職員に対して、体育指導員からプールでの遊び方、注意点を指導してもらっ

● 今回の連載で災害に対する対策を取られている園が多くありましたが、どのような対策をされていますか。

● 年に1、2回講師に来てもらって指導をしてもらっています。

● 他園で実際に起きた事故をもとに職員で会議を行っています。



J-ALERT防災訓練の様子。当日はNHKの取材も来ました（大野台保育園）

た。園児たちは防災ずきんをかぶり、身をかがめて安全を確保した後、手をつなぎ、また保育士が園児を背負って避難しました。指定避難場所への避難経路の確認をすることも重要だと感じました。

● リスクマネジメントについて、今後の課題として何がありますか。

● 危険回避のマニュアル作成なども大切ですが、保育園による過度な危険回

避は園児たちを締めつけてしまい、園児たちの成長を妨げてしまう恐れがあります。

● 園児たちには、危険を回避できる自己能力を身につけてほしいという思いもあります。

● 各園にそった対策や専門家からの意見を聞くことも有効な手段だと考えています。

● 時代によって、様々な種類の危険・リスクが出てくるため、常に検証し、取り組みを考えていく必要があると感じます。

第58回 全国保育研究大会のご案内

日程：平成26年11月12日(水)～11月14日(金)

1日目－行政説明、基調報告
2日目－分科会発表（全11分科会）
3日目－記念講演

会場：秋田県民会館（全体会場）
秋田市内ホテル等5カ所（分科会場）

主催：全国社会福祉協議会・全国保育協議会／全国保育士会
北海道・東北ブロック保育協議会、秋田県保育協議会

お申込み締切は平成26年9月24日(水)となっております。

お申込みは株式会社JTB東北法人営業秋田支店まで。
なお、開催要項につきましては、全国保育協議会より各保育園に配布済みですが、ご入用の場合は事務局までお問い合わせください。

ブロックだより

OSAKA

河内

保育現場で使える！

子ども向け体力づくり

ートレーニング指導と
エアロビクス

八尾私立保育園連盟・保育士会主催で5月23日に保育士研修を実施しました。エアロビクスインストラ

クターの三浦栄紀先生を招き、園長と保育士合わせて91人が参加しました。

まず、片足立ちや目を閉じて足踏みを行うことで自分の体の歪みやバランスを知り、続いて2人1組で行う「後出しじゃんけんゲーム」を行いました。「いか・たこゲーム」では、言葉により相手の手を掴むなど、さ



皆でいきいきダンシング

まざまな動きがありました。これらは①頭で考える②集中する③反射的に行動するということが必要で、幼

児期から遊びながら身につけることに適しており、すぐにも保育に取り入れたいと思いました。

『ピラティス』で体が少しほぐれた後「エアロビクス」を行いました。最初は簡単なステップから少しずつ増えていき、何度も繰り返ししていくうちに初心者の方たちでもいつのまにか踊れるように。最後は、EXILEの曲に合わせて踊れるようになり、いきいきと

南大阪

遊びながら主体的に音楽に関わる

ー子どもと楽しむ音楽遊び

音楽研修「子どもと楽しむ音楽遊び」が開催され、39人の保育士が参加しました。(主催 南大阪ブロック民間保育園連盟)

NPO法人生涯音楽アカデミー理事長の山地寛和先生に、保育における音楽のあり方や指導方法などたく



体を動かしてアイスブレイキング

楽しいことができました。現在は学校でもダンスが取り組まれています。「運動能力や集中力」「考える力」などとともに心を育てる「楽しさ」がポイントであることを実感しました。(編集委員C・T)

さんのことを話していただき、とても充実した2時間半となりました。

研修では、参加者が子ども役となり、山地先生のタンバリンのリズムやピアノの音色に合わせて体を動かし、歌を歌い、参加者同士関わることで、音楽が表現の領域だけでなく言葉や健康、人間関係などさまざまな領域に関連していることを学びました。

その後、鍵盤ハーモニカの導入の手順や方法などを実践や理論を交えながら詳しく教えていただきました。

全体を通して学んだことは子どもたちが、遊びの中で音楽にふれ、その楽しさを感じること、子どもたちが主体的に音楽に関わることでできるということです。

最後に、研修の中で山地先生の言葉で、特に心に残った言葉があるので紹介したいと思います。「音楽は人と一緒にするから楽しい」。

この言葉を大切に、これからも自分自身がまず楽しみ、子どもたちにその楽しさを伝えていきたいと思います。(高屋保育園M・F)



さんぽ

研修があり、必要に応じて研究会を開催しています。

年間4回の保育士研修が民間保育士会で行われているのが特徴です。また、各市に園長会があり、独自の研修や行事を行っています。

現在、貝塚市以北の

会員園が良い方向に進めるようサポートを

泉州ブロックは8市4町で構成され、現在80カ園の民間保育園が加入しております。ブロック全体行事は総会・園長研修会・新年互礼会・2年に一度の園長府外

市町では待機児童があり、園の新設や公立保育所の民営化などが進められていますが、泉佐野市以南の市町は待機児童も少なく、将来の少子化を見込

ようになっているかもしれませんが、保育部会常任委員会の出席率は100%近く、情報交換は充分にできており、結束力はどのブロックにも負け

泉州
ブロック

ないと自負しています。

保育園、並びに法人を取り巻く環境が厳しい中、認定こども園への移行の意向調査を踏まえ、勉強会の開催、法人の情報公開や、地域貢献事業の進

方向に進んで行けるよう取り組んで参りたいと考えておりますので、ご指導のほど、よろしくお願いたします。(泉佐野すえひろ保育園M・T)